

講義名称	キリスト教倫理	担当教員名	山本 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM114

授業のキーワード	キリスト教倫理・環境と人間の命・人権とキリスト教
授業の概要	現代社会における環境、生命、人権に関わる課題を取り上げ、キリスト教の信仰の視点で考察します。
期待される学習成果 (目標)	①キリスト教が現代社会の課題にどう応答しようとしているかを知ることにより、自分自身の「良心を手腕に運用する」視点を得ることができます。 ②環境、命、人権の課題に積極的に関わる姿勢を培うことができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方などについて解説します。「倫理学」への導入を行います。
2	キリスト教倫理とは	キリスト教倫理の聖書的根拠を提示します。
3	環境と命の課題①「命の始まり」	生殖医療（人工授精や出生前診断・人工中絶）を巡って。
4	環境と命の課題②「命の終わり」	「死」をめぐる医療（脳死・安楽死・臓器移植）とキリスト教の応答。
5	環境と命の課題③エネルギーと資源 その1	「核の平和利用」を巡って、映画を鑑賞します。
6	環境と命の課題④エネルギーと資源 その2	映画を踏まえて、「未来のエネルギー」を考えます。
7	環境と命の課題⑤持続可能な社会 その1	リサイクルとゴミを巡って、映画を鑑賞します。
8	環境と命の課題⑥持続可能な社会 その2	映画を踏まえて、人が「環境の保全」に負う使命について考えます。
9	人権の課題①	人種差別と多文化共生について考えます。
10	人権の課題②	障がい者をめぐる私たちの社会の課題を考えます。
11	人権の課題③	性差別をめぐるキリスト教「教理史」と現代的取り組みについて学びます。
12	人権の課題④	「性の多様性」とキリスト教的理解の間（ゲストスピーカーを予定）
13	人権の課題⑤	前回の授業を受けて、ディスカッションをします。
14	学期の学びとまとめ①	期末課題に向けての論点整理とディスカッションをします。
15	学期の学びとまとめ②	期末課題に取り組みます。

定期試験	最終授業において課題を提示し、授業時間内に取り組んで提出していただきます。
授業時間外学習	教科書や参考文献等を積極的に読み進めることが望ましい。
評価方法	①指定する礼拝についてのレポート20% ②授業貢献度（授業参加、礼拝出席を含む）20% ③期末課題60%
使用する教科書（必ず購入してください）	適宜資料プリントを配布します。
参考文献	神田健次 編 「講座 キリスト教倫理」 1～4巻 日本キリスト教出版局 1999年